

IV. 平成27年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	地球と惑星の気象学 (Terrestrial and planetary meteorology)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	中串 孝志		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 4月10日(金) 18:30~20:50		
	第2回 4月11日(土) 10:00~16:00		
	第3回 5月16日(金) 18:30~20:50		
	第4回 5月17日(土) 10:00~16:00		
	第5回 5月29日(金) 18:30~20:50		
	第6回 5月30日(土) 10:00~16:00		
<p>【授業のねらい・概要】 「環境問題」が声高に叫ばれる昨今ですが、そもそも、惑星「地球」のことを、どれほど知っているのでしょうか。本講座では、地球惑星科学の初歩の知識、特に気象学の初歩を扱います。私たちの身の周りの「状態」や気象の原理、日本の四季から世界の気候、地球温暖化やエルニーニョまで幅広く取り扱います。</p> <p>【授業計画】 第1回 「太陽光のエネルギーと大気(1)」 地球大気の概観とスケールについて/夕焼けはなぜ赤いのか 第2回 「太陽光のエネルギーと大気(2)」 火星の夕焼けはなぜ青い/気温とエネルギー収支/気温から見る地球史/地球温暖化 第3回 「地球を見る視点」 地球史と人間圏の誕生/ジオツーリズムとジオパーク 第4回 「動く大気」 風/雲のできる仕組み 第5回 「日本の四季」 偏西風の蛇行とジェット気流/台風/気団と日本の四季 第6回 「惑星としての地球」 紀伊半島/世界の気候/地球はどんな星か</p> <p>【到達目標】 惑星大気の仕組み・成り立ちの基礎を理解するとともに、地球を理解するための新たな視点を得る。環境問題にまつわるあやしげな言説に惑わされなくなる。身の回りの風景の中に今まで見えなかった地球の営みが「見える」ようになる。</p> <p>【教科書】 特に指定しません。必要に応じて資料を配布します。</p> <p>【参考書】 特に指定しません。必要に応じて講義中に紹介します。</p> <p>【成績評価方法】 各回に、小テストまたはレポートを課します。その合計で評価します。</p> <p>【授業時間外学習】 復習が決定的に重要です。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 惑星科学・気象学の基礎知識が無くても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。</p>			